

熊本大学学術リポジトリ

Kumamoto University Repository System

Title	雑詠 : 俳句
Author(s)	平野, 宗一
Citation	龍南, 180 : 73 - 73
Issue date	1921-12-18
Type	Departmental Bulletin Paper
URL	http://hdl.handle.net/2298/7834
Right	

雜

詠

草

一

秋日細民の孤兒は仔猫と戯れあかす。

けふも仔猫よ孤兒の膝にねむるなり

仔猫一匹の温みにいやくて蚊のむれ

満月の夜の親子の猫は石垣の外にねたり。

情婦にあはず幾夜かの木犀をかざたり

夜となり木犀の白さとなり別れん

早口に話す支那人らで潤れきつた地べた。

千秋樂の朝の子供役者が寢すごした

老人の柿賣の賣れ残りの澁柿